

輸液用電解質液(維持液)

処方箋医薬品^{注)}

日本標準商品分類番号

873319

貯法：室温保存
使用期限：外箱、容器に表示

SOLITA[®]-T No.3

	200mL	500mL
承認番号	22000AMX00243	22000AMX00243
薬価収載	2015年12月	2015年12月
販売開始	1963年4月	1962年2月
再評価結果	1978年3月	

注)注意－医師等の処方箋により使用する

[禁忌](次の患者には投与しないこと)

- (1) 乳酸血症の患者
[乳酸血症を増悪するおそれがある。]
- (2) 高カリウム血症、乏尿、アジソン病、重症熱傷、高窒素血症のある患者
[高カリウム血症を増悪する、又は起こすおそれがある。]

[組成・性状]

1. 組成

本剤は下記の成分を含有する。

成分	1袋(200mL)中	1袋(500mL)中
塩化ナトリウム	0.18g	0.45g
塩化カリウム	0.298g	0.745g
L-乳酸ナトリウム	0.448g	1.12g
ブドウ糖	8.6g	21.5g

添加物	1袋(200mL)中	1袋(500mL)中
L-乳酸(pH調節剤)	適量	適量

熱量：34kcal(200mL中)、86kcal(500mL中)

電解質濃度(mEq/L)

Na ⁺	K ⁺	Cl ⁻	L-Lactate ⁻
35	20	35	20

2. 性状

本剤は無色～微黄色澄明の液である。

pH	浸透圧比*
3.5～6.5	約1

※生理食塩液に対する比

剤形：水性注射剤

※3. 製剤的事項

本剤に使用のプラスチックバッグの規格は次のとおりである。

	予備容量
200mLプラスチックバッグ	約125mL
500mLプラスチックバッグ	約175mL

(落差45cmで混注したときの混注可能量)

[効能・効果]

経口摂取不能又は不十分な場合の水分・電解質の補給・維持

[用法・用量]

通常成人、1回500～1000mLを点滴静注する。投与速度は、通常成人1時間あたり300～500mL、小児の場合、1時間あたり50～100mLとする。

なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。

[使用上の注意]

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1) 高カリウム血症を伴わない腎不全のある患者
[水・電解質異常を起こす、又は増悪するおそれがある。]
- (2) 心不全のある患者
[水及びナトリウムの負荷により心不全が増悪するおそれがある。]
- (3) 重篤な肝障害のある患者
[水・電解質異常、血中乳酸値の上昇を起こす、又は増悪するおそれがある。]
- (4) 閉塞性尿路疾患により尿量が減少している患者
[水・電解質異常を起こす、又は増悪するおそれがある。]
- (5) 糖尿病の患者
[血糖値の上昇、水・電解質異常を起こす、又は増悪するおそれがある。]

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
大量・急速投与	脳浮腫、肺水腫、末梢の浮腫、水中毒、高カリウム血症

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では、生理機能が低下しているため、減量するなど注意すること。

4. 適用上の注意

投与時

本剤を投与する場合は患者の尿量が1日500mL又は1時間あたり20mL以上あることが望ましい。

※[取扱い上の注意]

- (1) 容器表面に水滴や結晶が付着している場合には使用しないこと。
- (2) 通気針は不要。
- (3) ゴム栓を保護しているシールがはがれているときは使用しないこと。
- (4) 混注する場合、注射針の刺針はゴム栓の周囲にある刺針部(凹部)を使用し、まっすぐ刺し入れること。斜めに刺すと、ゴム栓や排出口内壁の削り片が薬液中に混入したり、容器を刺通し液漏れの原因となることがある。また、同一箇所を繰り返し刺さないこと。
- (5) 輸液セットの瓶針はゴム栓の中央部の刺針部(凹部)にまっすぐ刺し入れること。
- (6) 容器の目盛りは目安として使用すること。
- (7) 本製品は、連結管(U字管)を用いたタンデム方式による投与はできないので、2バッグを同時又は連続して投与する場合は、Y字タイプの輸液セットを使用すること。

[包装]


200mL×20袋(プラスチックバッグ)

500mL×20袋(プラスチックバッグ)

[文献請求先]

株式会社 陽進堂 お客様相談室

東京都中央区日本橋浜町二丁目31番1号

 0120-647-734

製造販売元

エイワイファーマ株式会社

東京都中央区日本橋浜町二丁目31番1号

販売元



株式会社 陽進堂

富山県富山市婦中町萩島3697番地8号